



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月9日

上場会社名 住友金属鉱山株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5713 URL https://www.smm.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 担当課長 (氏名) 豊山 大慈 TEL 03-3436-7705  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	419,123	△0.8	25,884	△28.8	17,297	△46.1	17,470	△40.5	15,992	91.5
2020年3月期第2四半期	422,404	△9.5	36,365	△50.3	32,070	△48.2	29,386	△49.4	8,353	△87.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	63.58	63.58
2020年3月期第2四半期	106.94	106.94

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,720,768	1,117,500	1,009,677	58.7
2020年3月期	1,719,690	1,110,860	1,001,946	58.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	37.00	59.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	858,000	△1.7	67,000	△15.2	48,000	△21.0	46,000	△24.1	167.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料P5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	290,814,015株	2020年3月期	290,814,015株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	16,034,456株	2020年3月期	16,032,485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	274,780,670株	2020年3月期2Q	274,786,364株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想について、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料は、2020年11月9日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(事業セグメント) .....	13
(後発事象) .....	14
3. 補足情報 .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	税引前四半期利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益
当第2四半期連結累計期間	419,123	25,884	17,470
前第2四半期連結累計期間	422,404	36,365	29,386
増減	△3,281	△10,481	△11,916
増減率 (%)	(△0.8)	(△28.8)	(△40.5)

(海外相場、為替)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
銅	\$/t	5,956	5,931	△25
金	\$/TOZ	1,392.0	1,810.9	418.9
ニッケル	\$/lb	6.32	5.99	△0.33
為替(TTM)	円/\$	108.63	106.92	△1.71

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束していないことなどを背景に、景気が減速基調で推移しました。

為替相場については、欧米などでの当該感染症再拡大への懸念に加え、深刻化する米中対立や米国の追加経済対策の動向から、円高ドル安傾向で推移したことで、平均為替レートは前年同期間と比べ円高となりました。

主要非鉄金属価格につきましては、銅及びニッケル価格は、当該感染症の拡大を受け前年度末にかけ下落しましたが、当第2四半期連結累計期間では、中国経済が回復しつつあることなどを背景に上昇基調で推移しました。金価格は、当該感染症の影響による世界経済の先行き不透明感により上昇基調で推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の銅及びニッケル価格は、回復基調ではあるものの平均価格では前年同期間を下回り、金価格は前年同期間を上回りました。

材料事業の関連業界におきましても、当該感染症の拡大による経済活動の停滞を受け、当社の車載用電池向け部材は需要が低迷し販売は伸び悩みました。スマートフォン市場は、当該感染症の拡大による影響を受け一部の部材で在庫調整があったものの、第5世代移動通信システム(5G)の進展などにより需要に回復の兆しが出てきました。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、銅及びニッケル価格が前年同期間を下回ったことに加え、電池材料事業での一時的な生産調整による減販などにより、前年同期間に比べ32億81百万円減少し、4,191億23百万円となりました。

連結税引前四半期利益は、減収に加え、銅価格の下落などにより持分法による投資損益が悪化したことで、前年同期間に比べ104億81百万円減少し、258億84百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、連結税引前四半期利益が減少したことにより、前年同期間に比べ119億16百万円減少し、174億70百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(資源セグメント)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	55,264	59,548	4,284	7.8
セグメント利益	19,511	13,449	△6,062	△31.1

セグメント利益は、金価格は上昇したものの、銅価格の下落などにより持分法による投資損益が悪化したことで、前年同期間を下回りました。

主要鉱山の概況は以下のとおりであります。

菱刈鉱山は年間販売金量6 tに向け順調な操業を継続しており、販売金量は3.1 tとなりました。

モレンシー銅鉱山(米国)の生産量は、カソード生産の好調などにより前年同期間を上回り、226千 tとなりました(うち非支配持分を除く当社権益は25%)。

セロ・ベルデ銅鉱山(ペルー)の生産量は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国家非常事態宣言を受け、保安操業を実施した影響などにより前年同期間を下回り、173千 tとなりました(うち非支配持分を除く当社権益は16.8%)。

シエラゴルド銅鉱山(チリ)の生産量は、鉱石処理量の増加などにより前年同期間を上回り、71千 tとなりました(うち非支配持分を除く当社権益は31.5%)。

(製錬セグメント)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	296,060	301,763	5,703	1.9
セグメント利益	17,652	17,005	△647	△3.7

(当社の主な製品別生産量)

製品	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
銅	t	196,446	218,994	22,548
金	kg	9,184	8,434	△750
電気ニッケル	t	29,014	28,560	△454
フェロニッケル	t	6,480	5,931	△549

(注) 生産量には、受委託分を含めて表示しております。

セグメント利益は、金価格は上昇したものの、その他の非鉄金属価格の下落などにより前年同期間を下回りました。

電気銅の生産量及び販売量は前年同期間を上回りましたが、電気ニッケルの生産量及び販売量は前年同期間を下回りました。

Coral Bay Nickel Corporationの生産量は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は軽微であり前年同期間並みとなりました。Taganito HPAL Nickel Corporationは、当該感染症拡大の影響を受けて予定休転期間が一部長期化しましたが、休転後は概ね計画どおりに操業を行っており生産量は前年同期間を上回りました。

(材料セグメント)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	109,210	107,136	△2,074	△1.9
セグメント利益	2,833	2,499	△334	△11.8

セグメント利益は、粉体材料等では前年同期間と比較し販売量が増加したものの、電池材料等において新型コロナウイルス感染症拡大による需要の低迷を受け販売量が減少したことなどにより、前年同期間を下回りました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
資産合計	1,719,690	1,720,768	1,078
負債合計	608,830	603,268	△5,562
資本合計	1,110,860	1,117,500	6,640

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末並みとなりました。棚卸資産及びその他の金融資産に含まれる投資有価証券が増加しましたが、現金及び現金同等物が減少し、持分法による投資損失を計上したことにより持分法で会計処理されている投資が減少しました。なお、持分法で会計処理されている投資の一部を売却目的で保有する資産に分類しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ減少しました。営業債務及びその他の債務が増加したものの、社債及び借入金に含まれる長期借入金が減少しました。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は前連結会計年度末に比べ増加しました。その他の資本の構成要素のうち在外営業活動体の換算差額が円高の影響により減少したものの、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産が保有株式の価格上昇により増加しました。また、四半期利益を計上したことにより利益剰余金が増加しました。

## ② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,502	51,569	△22,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,278	△38,405	△15,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,521	△28,787	△40,308
換算差額	△2,757	△2,562	195
現金及び現金同等物の期首残高	81,261	155,530	74,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	141,249	137,345	△3,904

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益が減少し、棚卸資産が増加したこと、さらに営業債権及びその他の債権の減少額が前年同期間に比べて少なかったことから、営業債務及びその他の債務の増加があったものの前年同期間に比べて収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出が増加し、関係会社株式の取得による支出が増加したことなどから前年同期間に比べて支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間にあった長期借入れによる収入が当期はなかったこと、さらに長期借入金の返済による支出が増加し、配当金の支払額が増加したことなどから、前年同期間に比べて支出が増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	税引前当期利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
2021年3月期(予想)	858,000	67,000	48,000	46,000
2020年3月期(実績)	872,615	79,035	60,752	60,600
増減	△14,615	△12,035	△12,752	△14,600
増減率(%)	△1.7%	△15.2%	△21.0%	△24.1%

(海外相場、為替予想)

		A	B	(A+B/2)
	単位	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	第3及び第4四半期 (予想)	2020年度 (予想) 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日
銅	\$/t	5,931	6,300	6,116
金	\$/TOZ	1,810.9	1,900.0	1,855.5
ニッケル	\$/lb	5.99	6.25	6.12
為替(TTM)	円/\$	106.92	104.00	105.46

当社グループをとりまく事業環境のうち、非鉄金属業界につきましては、銅及びニッケルともに新型コロナウイルス感染症による需要縮小からの回復が供給に比して遅れ、若干の供給過多で推移するものと見込まれております。銅価格及びニッケル価格は、いずれも需給バランスに沿った適正水準を維持するものと予想されます。

材料事業の関連業界におきましては、車載・通信分野ともに新型コロナウイルス感染症による需要縮小は底を打ち、一部部材で一時的な調整はあるものの、中長期的には需要は堅調に推移すると見込んでおります。

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済環境の先行き不透明感が残るものの、現時点で合理的と考えられる範囲の想定を元に、前回予想(2020年8月7日)に比べ、主要な非鉄金属価格は足元の水準を考慮の上で将来の需給バランスを予測して見直し、為替は足元の動向を踏まえて見直しました。また主要製品の生産量及び販売量は足元の実績を踏まえて見直しました。その結果、連結売上高は8,580億円、連結税引前利益は670億円、連結当期利益は480億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は460億円と予想しております。

## 2021年3月期通期 連結業績予想

(単位：百万円)

	資源	製錬	材料	計	その他	調整額	計
売上高	125,000	607,000	228,000	960,000	10,000	△112,000	858,000
セグメント利益	43,000	34,000	5,000	82,000	△2,000	△13,000	67,000

ご参考：2021年3月期通期 連結業績予想(8月7日公表数値)

(単位：百万円)

	資源	製錬	材料	計	その他	調整額	計
売上高	119,000	586,000	223,000	928,000	10,000	△103,000	835,000
セグメント利益	31,000	32,000	2,000	65,000	△2,000	△15,000	48,000

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	155,530	137,345
営業債権及びその他の債権	123,393	113,675
その他の金融資産	8,959	14,358
棚卸資産	252,799	286,397
その他の流動資産	20,541	16,888
小計	561,222	568,663
売却目的で保有する資産	—	10,851
流動資産合計	561,222	579,514
非流動資産		
有形固定資産	463,405	450,766
無形資産及びのれん	58,338	56,214
投資不動産	3,428	3,477
持分法で会計処理されている投資	365,090	347,879
その他の金融資産	241,957	259,131
繰延税金資産	8,466	8,215
その他の非流動資産	17,784	15,572
非流動資産合計	1,158,468	1,141,254
資産合計	1,719,690	1,720,768



	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	104,803	113,682
社債及び借入金	80,656	111,704
その他の金融負債	5,019	7,960
未払法人所得税等	4,687	6,755
引当金	4,392	4,528
その他の流動負債	6,753	8,148
流動負債合計	206,310	252,777
非流動負債		
社債及び借入金	316,847	264,550
その他の金融負債	11,705	11,908
引当金	21,708	19,766
退職給付に係る負債	14,024	11,556
繰延税金負債	37,394	41,888
その他の非流動負債	842	823
非流動負債合計	402,520	350,491
負債合計	608,830	603,268
資本		
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	87,598	87,692
自己株式	△38,002	△38,009
その他の資本の構成要素	△94	826
利益剰余金	859,202	865,926
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,001,946	1,009,677
非支配持分	108,914	107,823
資本合計	1,110,860	1,117,500
負債及び資本合計	1,719,690	1,720,768

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	百万円	百万円
売上高	422,404	419,123
売上原価	△367,639	△362,943
売上総利益	54,765	56,180
販売費及び一般管理費	△24,457	△22,265
金融収益	6,779	6,822
金融費用	△5,682	△9,562
持分法による投資損益 (△は損失)	4,519	△4,449
その他の収益	3,410	1,636
その他の費用	△2,969	△2,478
税引前四半期利益	36,365	25,884
法人所得税費用	△4,295	△8,587
四半期利益	32,070	17,297
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	29,386	17,470
非支配持分	2,684	△173
四半期利益	32,070	17,297
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	106.94	63.58
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	106.94	63.58

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	32,070	17,297
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△4,862	11,328
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	49	21
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4,813	11,349
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1,015	△1,007
在外営業活動体の換算差額	△11,133	△7,902
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△6,756	△3,745
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△18,904	△12,654
税引後その他の包括利益	△23,717	△1,305
四半期包括利益	8,353	15,992
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,499	18,360
非支配持分	△146	△2,368
四半期包括利益	8,353	15,992

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月1日時点の残高	93,242	87,598	△37,983	△18,573	631	43,698
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	△1,045	—	—
会計方針の変更を反映した2019年4月1日時点の残高	93,242	87,598	△37,983	△19,618	631	43,698
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△15,026	△1,048	△4,813
四半期包括利益合計	—	—	—	△15,026	△1,048	△4,813
自己株式の取得	—	—	△7	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	2,490
所有者との取引額合計	—	—	△7	—	—	2,490
2019年9月30日時点の残高	93,242	87,598	△37,990	△34,644	△417	41,375

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	合計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月1日時点の残高	—	25,756	878,948	1,047,561	103,719	1,151,280
会計方針の変更による累積的影響額	—	△1,045	△56,330	△57,375	—	△57,375
会計方針の変更を反映した2019年4月1日時点の残高	—	24,711	822,618	990,186	103,719	1,093,905
四半期利益	—	—	29,386	29,386	2,684	32,070
その他の包括利益	—	△20,887	—	△20,887	△2,830	△23,717
四半期包括利益合計	—	△20,887	29,386	8,499	△146	8,353
自己株式の取得	—	—	—	△7	—	△7
配当金	—	—	△6,045	△6,045	△2,257	△8,302
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	7,045	7,045
利益剰余金への振替	—	2,490	△2,490	—	—	—
所有者との取引額合計	—	2,490	△8,535	△6,052	4,788	△1,264
2019年9月30日時点の残高	—	6,314	843,469	992,633	108,361	1,100,994

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月1日時点の残高	93,242	87,598	△38,002	△26,376	△916	27,198
四半期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	△9,410	△1,049	11,349
四半期包括利益合計	-	-	-	△9,410	△1,049	11,349
自己株式の取得	-	-	△7	-	-	-
自己株式の処分	-	0	0	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-
支配継続子会社に対する持分変動	-	-	-	-	-	-
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	-	-
利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	30
その他	-	94	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	94	△7	-	-	30
2020年9月30日時点の残高	93,242	87,692	△38,009	△35,786	△1,965	38,577

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	合計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月1日時点の残高	-	△94	859,202	1,001,946	108,914	1,110,860
四半期利益	-	-	17,470	17,470	△173	17,297
その他の包括利益	-	890	-	890	△2,195	△1,305
四半期包括利益合計	-	890	17,470	18,360	△2,368	15,992
自己株式の取得	-	-	-	△7	-	△7
自己株式の処分	-	-	-	0	-	0
配当金	-	-	△10,716	△10,716	△667	△11,383
支配継続子会社に対する持分変動	-	-	-	-	1,916	1,916
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	28	28
利益剰余金への振替	-	30	△30	-	-	-
その他	-	-	-	94	-	94
所有者との取引額合計	-	30	△10,746	△10,629	1,277	△9,352
2020年9月30日時点の残高	-	826	865,926	1,009,677	107,823	1,117,500

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	36,365	25,884
減価償却費及び償却費	22,224	23,068
持分法による投資損益 (△は益)	△4,519	4,449
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△908	△983
引当金の増減額 (△は減少)	△1,634	△2,360
金融収益	△6,779	△6,822
金融費用	5,682	9,562
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	37,763	9,172
棚卸資産の増減額 (△は増加)	11,158	△34,235
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△32,673	17,313
前渡金の増減額 (△は増加)	671	3,647
未払消費税等の増減額 (△は減少)	415	1,515
その他	2,154	2,683
小計	69,919	52,893
利息の受取額	2,139	2,434
配当金の受取額	9,399	3,648
利息の支払額	△3,727	△2,457
法人所得税の支払額	△4,563	△5,024
法人所得税の還付額	1,335	75
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,502	51,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,842	△17,686
定期預金の払戻による収入	5,214	10,086
有形固定資産の取得による支出	△23,781	△24,024
無形資産の取得による支出	△264	△381
関係会社株式の取得による支出	△1,945	△4,629
短期貸付金の回収による収入	140	139
長期貸付けによる支出	△1,137	△2,015
長期貸付金の回収による収入	1,533	18
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出	—	△249
その他	804	336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,278	△38,405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	118,877	143,480
短期借入金の返済による支出	△118,950	△142,600
長期借入れによる収入	27,479	—
長期借入金の返済による支出	△13,727	△19,312
非支配株主からの払込みによる収入	7,047	1,916
配当金の支払額	△6,045	△10,716
非支配持分への配当金の支払額	△2,257	△667
その他	△903	△888
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,521	△28,787
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	62,745	△15,623
現金及び現金同等物の期首残高	81,261	155,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,757	△2,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	141,249	137,345

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (事業セグメント)

## (1) 報告セグメントの概要

## ① 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は製品・サービス別に事業を行うために、事業部門として、資源事業本部、金属事業本部、電池材料事業本部、機能性材料事業本部の4つの事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、当社及び所管する連結子会社と持分法適用会社を通じて、事業活動を展開しております。なお、当社は、事業の性質や対象顧客等に関して類似の経済的特徴を有しており、製品及びサービスの性質等のすべての要素において類似していると認められる電池材料事業本部と機能性材料事業本部について、事業セグメントを集約しております。資源事業を「資源」に、金属事業を「製錬」に、電池材料事業及び機能性材料事業を「材料」にそれぞれ区分することで、当社の主たる事業である「資源」、「製錬」、「材料」の3つを報告セグメントとしております。

## ② 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「資源」セグメントでは、国内及び海外における非鉄金属資源の探査、開発、生産及び生産物の販売を行っております。

「製錬」セグメントでは、銅、ニッケル、フェロニッケル、亜鉛等の製錬、販売及び金、銀、白金、パラジウム等の貴金属の製錬、販売等を行っております。

「材料」セグメントでは、電池材料（水酸化ニッケル、ニッケル酸リチウム等）、ペースト、粉体材料（ニッケル粉等）、結晶材料（タンタル酸リチウム基板、ニオブ酸リチウム基板等）、テープ材料等の製造、加工及び販売、自動車排ガス処理触媒、化学触媒、石油精製脱硫触媒、軽量気泡コンクリート等の製造及び販売を行っております。

## (2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、各セグメントにおける財政状態計算書上で設定された社内借入金に対して、各事業セグメントに金利相当を計上していることを除き、要約四半期連結財務諸表作成のための会計方針と概ね同一であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	資源	製錬	材料	計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高								
外部売上高	40,299	280,604	99,536	420,439	1,965	422,404	—	422,404
セグメント間 売上高	14,965	15,456	9,674	40,095	2,424	42,519	△42,519	—
合計	55,264	296,060	109,210	460,534	4,389	464,923	△42,519	422,404
セグメント利益	19,511	17,652	2,833	39,996	148	40,144	△3,779	36,365

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない本社部門所管のその他の収益を稼得する事業活動であります。不動産事業、エンジニアリング事業等が含まれます。

2. セグメント利益の調整額△3,779百万円は、セグメント間取引消去と報告セグメントに帰属しない金融収益及び費用等であります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の税引前四半期利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	資源	製錬	材料	計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高								
外部売上高	34,190	285,643	97,247	417,080	2,043	419,123	—	419,123
セグメント間 売上高	25,358	16,120	9,889	51,367	2,621	53,988	△53,988	—
合計	59,548	301,763	107,136	468,447	4,664	473,111	△53,988	419,123
セグメント利益	13,449	17,005	2,499	32,953	△250	32,703	△6,819	25,884

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない本社部門所管のその他の収益を稼得する事業活動であります。不動産事業、エンジニアリング事業等が含まれます。

2. セグメント利益の調整額△6,819百万円は、セグメント間取引消去と報告セグメントに帰属しない金融収益及び費用等であります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の税引前四半期利益と調整を行っております。

4. 従来「調整額」に含まれていたSMM Holland B.V.について、組織変更に伴い、前第4四半期連結会計期間より「資源」に報告セグメントを変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## (後発事象)

当社は、PT Vale Indonesia Tbk(当社関連会社、製錬セグメント、インドネシア共和国所在)株式の一部(同社発行済株式の5%相当)をインドネシア国営企業であるPT Indonesia Asahan Aluminium (Persero)に売却する株式譲渡契約を2020年6月19日に締結のうえ、10月7日に同譲渡取引を完了いたしました。

また、当該株式の譲渡完了をもってPT Vale Indonesia Tbkを持分法関連会社から除外(継続保有株式を持分法で会計処理されている投資からその他の金融資産へ分類変更)することとなります。一連の会計処理による2021年3月期連結会計年度の税引前利益に与える影響は、675百万円の増加となる見込みであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末において、当該譲渡株式は、売却目的で保有する資産に分類しております。



## 3. 補足情報

## 主な製品別売上数量・単価・売上高(当社)

部門	製品	単位	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	2020年度 (予想)
資源	金銀鉱  (金量)	t	71,865	146,393
		千円/DMT	257	243
		百万円	18,477	35,625
		(kg)	(3,100)	(6,000)
製錬	銅	t	218,800	436,390
		千円/t	648	655
		百万円	141,718	286,002
	金	kg	8,882	17,408
		円/g	6,248	6,300
		百万円	55,493	109,673
	銀	kg	98,503	199,317
		千円/kg	69	73
		百万円	6,794	14,588
	ニッケル	t	32,339	68,802
		千円/t	1,422	1,452
		百万円	45,972	99,907
材料	機能性材料等	百万円	71,275	152,953

(注) 1. 当社は、主要製品の受注生産比率が少なく、主として見込生産によっております。

2. ニッケルには、フェロニッケルを含めて表示しております。